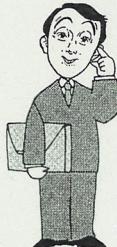


平成22年  
7月11日執行

# 參議院有手本提出公選舉參選公選舉委員會提出公選舉委員會

岩手県選舉  
管理委員会

いのち、平和を大切にする政治をめざします



**伊沢昌弘のプロフィール**  
生年月日 1947年6月14日  
原 住 所 盛岡市福川三丁目7番1号  
略 号 昌  
1966年3月 滋賀県立高島高等学校卒業  
1970年3月 県立大学工学部  
専攻 用化学科卒業  
1970年4月 千葉県佐野町の岩淵浩吉塾  
1973年4月 岩淵浩吉塾にて研修  
1973年春 岩手県農業試験場にて研究員として  
勤務  
1980年10月 岩手県農業試験場  
1991年4月～1995年3月 岩手県議会議員（一期）  
1995年4月～2007年3月 岩手県議会議員（二期）  
●現 職 社民党岩手連合幹事長

比例代表は社民党へ

くじしの再建

医師不足は正しくは嘗てする診療時間の改定。  
が適切に心えられるより税金を課税を國にまつて  
住民の安全やライフライン確保のため、公費を拡大し、年々  
暮らせる年金確保のため、黙黙の養育し年全額  
負担制度を堅持します。

くじしの再建  
医師不足は「正義」等に付する論議問題の改定。医療供給体制の充実、医師不足は「正義」等に付する論議問題の改定。医療供給体制の充実、  
受けた予算の随分と回ります。高齢者医療制度は、随筆者自ら支援法废止までの間、保険料を切るため公費を投入し負担軽減を図ります。  
上位を抑えるため公費を投入し負担軽減を図ります。  
医療費の年金保険のため「基礎的養老・年金」を創設します。  
義務教育の年金保険のため「基礎的養老・年金」を創設します。  
医療費の年金保険のため「基礎的養老・年金」を創設します。

「生活再建」に向けた重点政策を基本に置きますが、國民性に主張し実現はかかります。  
（註）

平和なくして、輸りません。」  
鳴山前首相は直轄圏において、その理由を「普天間」問題で、「政治と力」の問題と述べました。なぜ、その後を受けて、この問題が、政府の役割と主務は、沖縄県民にこれまで以上の負担をかけない解消のため、沖縄県民法の全面改正によって、「政治と力」から別途「政治」ということになります。  
私は、平和で明るく暮らせる社会の実現に全力で頑張ります。



社会民主党公認  
伊沢 昌弘

消費者団体を上げに反対します

**1世帯年間  
16万円増  
(4人世帯)**

# 消費税10%への大増税は許しません

A black and white portrait of a man with dark hair and a mustache, wearing a suit and tie. The portrait is set within an oval frame.

# 日本共产党

# 志位和夫委員長 街頭演説

比例代表は「日本共産党」と、お書きください

【略歴】1950年奥州市生まれ。県立水沢高校、岩手大学教育学部卒。会社員をへて日本共産党中部地区委員長などを歴任。

選挙区は、うすい黄色の投票用紙に、候補者の氏名を書いて投票してください。

比例代表は、白色の投票用紙に、候補者の氏名又は政党等の名称を書いて投票してください。

(この選舉公報は、候補者から提出された掲載文をそのまま写真製版により印刷したもので。)

(この選挙公報の掲載順序は、くじで決定しています。)

平成22年  
7月11日執行

# 參議院石手県選出議員選舉公報

# 岩手県選挙 管理委員会

**初心を忘れず、初心に帰り、公約実現。**

# 2010 — マニフェスト — **Manifesto**

- 1 ムダづかい行政刷新→強い財政ムダづかいと天下りを根絶し、財政を健全化させます。
  - 2 政治改革  
お金のつからない、クリーンな政治を実現します。
  - 3 外交・安全保障  
責任ある外交で、開かれた国益を実現します。
  - 4 子育て・教育  
未来を担う子どもたちへの政策を最優先にします。
  - 5 年金・医療・介護・障がい者福祉  
病気や高齢への不安を全力で減らしていきます。
  - 6 雇用  
現場で働く人たちを応援します。
  - 7 農林水産業  
農林水産業を再生し、食料自給率向上と「食」の安全を確保を実現します。
  - 8 郵政改革  
次期国会で最優先課題として速やかな成立を図ります。
  - 9 地域主権  
「地域主権改革」で、地域の活力を再生します。
  - 10 交通政策・公共事業  
公共事業のより良い見直し、地域を活性化します。

**地域主権の確立**  
地方にとって重要なことは原発等の行政でなく、地方固有の創意と施設を決める、血の通った施設を実現させていくことだ。国は日本へ向けてはその仕事に専念するといいわけだ。日本ではない結果を出すにあれば、地元に血の通った行政がやることだ。

## 政策の3本柱

6年前は野党として中央官庁と地方行政に危惧を持つて政治改革を訴えてきました。今回は政権与党の一員として責任ある政治を進めるために必ず勝利し、国民の信頼と安心を回復しなければなりません。首相の途中交代を真剣に受け止め、民主党一丸となって、国民の生活が第一の政治に取り組んで参ります。

**安定政権で「国民の生活が第1」。**



民主黨公認

# 主浜りょう

しゅはま

主 指 り よう プロフィール	
■生年月日	昭和25年4月2日 手取川町瀬戸村生まれ
■経歴	1983(昭和58)年3月 清水村立清水小学校卒業 1986(昭和61)年3月 清水村立清水中学校卒業 1989(昭和64)年3月 岩見沢立岡部中学校卒業 1973(昭和48)年3月 北海道立法学校卒業 1973(昭和48)年4月 岩見沢市役所入庁 1997(平成9)年 千歳市議会朝局秘書部長
■現職	行政監査委員会 理事 国民・地球温暖化対策に関する調査会 理事 震災水害対策委員会 委員 民主党 県民主党岩見沢地区連合会 副代表 岩見沢市議会選舉地区第2選舉区支部幹部 常務幹部 【憲政】 森林環境政策監視団監査会 事務局長
■在籍	企画振興部広報企画課長 2000(平成12)年宮古市役所 環境生涯学習部次長 2003(平成15)年釧路市水資源兼農林水産企画室長 岩手県庁退職 2003(平成15)年岩手県庁退職 2004(平成16)年第2回防護院議員選挙手道選区初当選 ○政務 【常任委員会】 地震水害対策委員会 理事、予算委員会 委員 【特別委員会】 冲縄及び北朝鮮に関する特別委員会 理事 イクラ、武田攻撃等懇親会特別委員会 委員 【議会】 少子高齢化・共生社会に関する調査会 委員 ○党務 民主党岩見沢地区連合会副代表 民主党岩見沢地区連合会議員長 民主党憲政政策監視団議員長代理 民主党「次の内閣」震災水害対策大臣 民主党会員評議会

ANSWER

## PROFILE

1

卷之三

曉經學園



**40歳  
勇気ある決断を!**

**20年かけて日本再生の  
仕事をさせてください。**

A black and white portrait of a man with dark hair and glasses, looking slightly to the right.

# 高橋ゆきふみ

期日前投票を活用しましょう。

(この選舉公報は、候補者から提出された掲載文をそのまま写真製版により印刷したもので、

(この選挙公報の掲載順序は、くじで決定しています。)